

平成26年度 再評価委員会

路線名：一般国道444号

(福富鹿島道路)

事業名：道路改良事業

(再評価実施後5年経過のため再評価)

1

有明海沿岸道路の概要

- 福岡県大牟田市と佐賀県鹿島市を結ぶ
計画路線延長約55kmの地域高規格道路



▲有明海沿岸道路の位置と周辺の幹線道路ネットワーク

2

事業目的

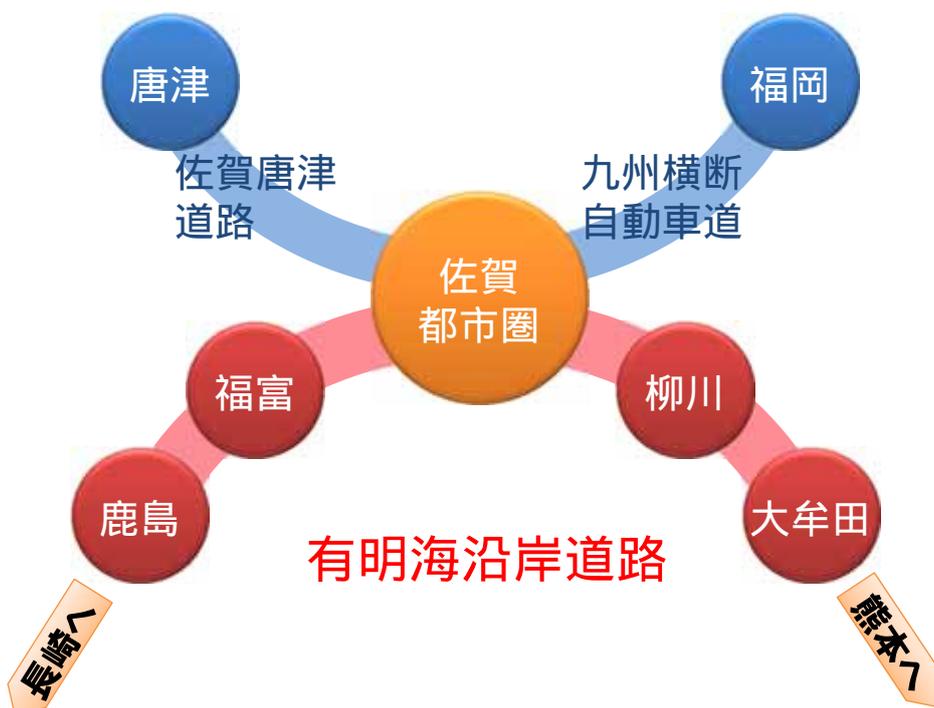
地域間の交流支援

時間短縮・定時性確保

現道の交通渋滞の緩和

3

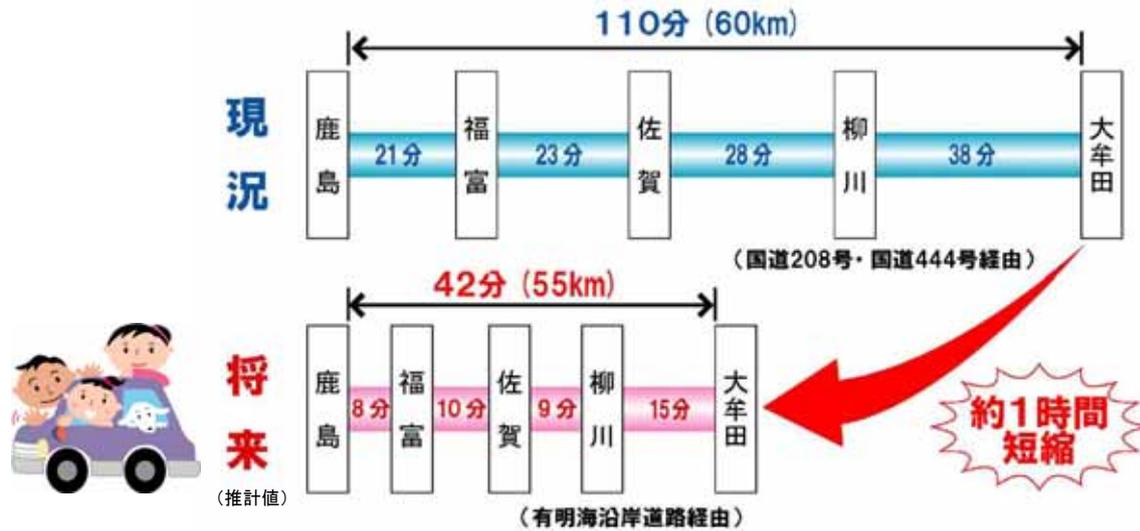
地域間の交流支援



4

時間短縮・定時性確保

●有明海沿岸道路の整備により、大牟田市～鹿島市が
現在:110分 → **将来:42分**
約1時間も短縮! (推計値)



▲沿線主要都市圏の所要時間変化

現道の交通渋滞の緩和

例えば、佐賀福富道路
 (L=4.5km供用)では・・・

嘉瀬新町交差点(供用前)



交通量(平成22年10月調査)
 17,568台/12h

嘉瀬新町交差点(供用後)



交通量(平成26年6月調査)
 14,010台/12h

約20%減少
 (約 3,500台/12h)

現地状況



国道444号渋滞状況(JR長崎本線付近)



廻里江川から終点(鹿島方面)を望む

事業概要

- 全体事業費: 約164億円
- 工 期: 平成17年度～平成35年度(予定)
- 全体延長: L=3,600m(暫定2車整備)
- 事業内容: 改良工 L=3,600m
 橋梁工 2基
 用地補償 1式

事業の進捗状況

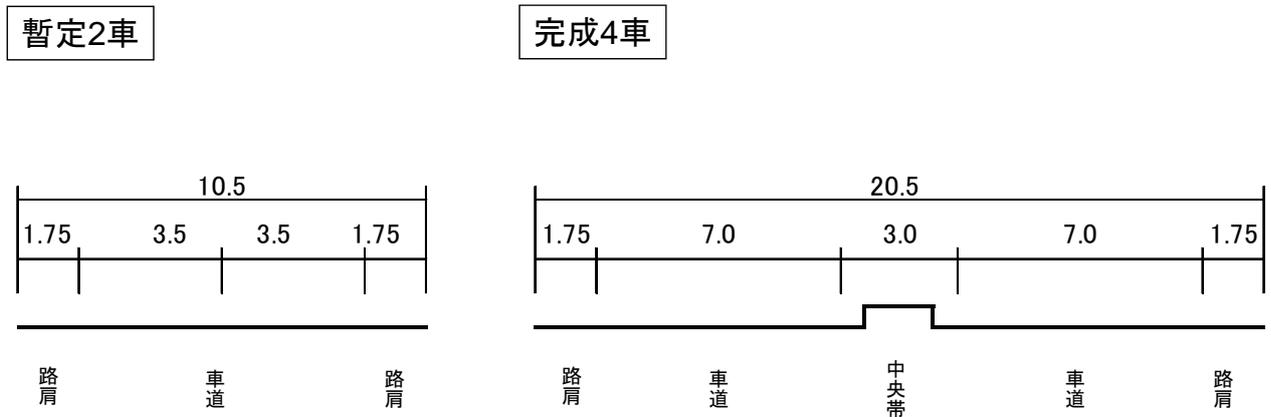
	平成25年度まで	平成26年度	平成27年度以降
事業費(億円)	2.8	0.2	161.2
進捗率(%)	1.7	1.9	100.0
用地進捗率(%)	0.0	0.0	100.0

有明海沿岸道路



9

一般国道 444号(福富鹿島道路) 横断図



事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 交通量は1万台/日前後で推移
 - ◎白石町遠ノ江(国道444号)
 - 平成11年度 9,003台/日
 - 平成17年度 10,180台/日
 - 平成22年度 9,627台/日
- 隣接する佐賀福富道路では、約4.5kmが開通
- 佐賀県医療センター好生館が、H25年5月に佐賀福富道路(嘉瀬南IC)近くの嘉瀬地区に開院
- 有明海沿岸道路の福岡県側では、約19.3kmが開通

11

費用対効果の要因の変化

- 将来利用予測を踏まえ、終点部インターをコンパクトな形状に変更したことによる事業費の減額。

$$\text{費用便益比}(B/C) = 390.7 / 126.6 = 3.1$$

• 【便益】

走行時間短縮便益	=	340.0億円
走行経費縮小便益	=	41.5億円
交通事故減少便益	=	9.2億円
合計		390.7億円

• 【費用】

事業費	=	124.3億円
維持管理費	=	2.3億円
合計		126.6億円

12

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 本工区は、全線軟弱地盤上に構築することとなるため、地盤特性を的確に把握し効率的な軟弱地盤対策工法を選定しコスト縮減を図る。
- 他工事で発生する残土を本工事の盛土等に流用し、コスト縮減を図る。

(代替案の検討)

- ・特に無し

13

今後の事業の進め方

- 現在行っている環境影響評価の手続を平成26年度末までに完了する予定である。
- 環境影響評価の手続完了後は、現地調査など用地買収や工事着手に向けた準備に速やかに取り組み、円滑な事業進捗を図る。

14

対応方針(事業課案)

- 本工区は、有明海北部沿岸地域の都市間の交流や、重要港湾三池港や有明佐賀空港といった広域交通拠点との連携を強化する交流促進型道路である有明海沿岸道路の一部である。
- 当初から事業の必要性・重要性は変わっておらず、費用対効果の高さや、円滑な交通の確保による地域経済の発展等を勘案し、引き続き事業を継続することとしたい。